

第3回理事会議事録

1.開催日時及び場所

- (1)日時 2021年10月3日(日) 午前11:00～13:00
- (2)場所 親蔦会クラブ

2.出席者 理事 12名・相談役0名・監事 1名・顧問(教頭) 計14名

3.付議事項

1. 2021年度事業経過報告に関する件
2. 親蔦会創立90周年記念事業の件
3. 各委員会活動報告
4. 理事会体制の件
5. その他

4.議事

議事に先立ち、柴田教頭先生に挨拶を頂いた。

その後、山本会長が議長に就任、議事録署名人に次の2名を指名し、会場に異議を問うたところ、会場から異議なく拍手にて承認された。

山田保枝、白石美弥子

議題

1. 2021年度事業経過報告の件

事務局より報告。親蔦クラブ隣室購入の可否を総会にて問うにあたり、その可否により数値が多い異なる為総会に提出していなかった2021年度見積書を提示、購入により昨年度より増加する費目は地代、共益費、光熱費、火災保険料の4件となる。固定資産税は取得年度に限り取得金額に上乘せとなるとの税制上の決まりにより、来年度からの増加となる。

上記4件は増加分を見込んで昨年実績にプラスしており、それ以外の項目は概ね昨年実績と同等の金額を見積額としていると報告。

続いて、9月30日現在の収支予算事業別区分内訳書並びに報告書に基づき報告を行った。

本報告の正会員会費は5年会費再計算済の値で、レジメ記載の額は実納入額である。

表の右端に9/30現在の予算充足率を表示しているので参考にして頂きたい。

在校生会費は毎年1～3月にまとめて振り込まれる為、現在は0円となっている。

本年度より新設の寿寄附はおかげさまで9/30現在113万円となっており、又、会費の納入率も昨年よりは良い為、今年度は単年度赤字は避けられそうな状況である。

新型コロナの影響で第91回総会も親蔦クラブで実施した。今回も委任状の行使を有効とし、運営委員宛に事前に資料を送付、参加、委任状参加、議決権行使の何れかを選択して頂いた。

結果、参加16名(内運営委員15名)、委任状参加24名、議決権行使7名、計46名となった。

運営委員総数67名につき、総会成立できた。議決権参加7名のうち、全議案賛成5名、第四号議案のみ反対2名であった。第四号議案とはストークビル隣室605号室購入の議案である。

続いて、9月30日現在の親蔦クラブの使用料収益は新型コロナによる教室休止の為、激減している。

今後、隣室購入で広がった親蔦クラブをPRする事等で、新規利用者を開拓していく。

支出に関しては、隣室購入による支出増加項目以外はほぼ予算通り堅調に推移していると考ええる。

コロナで各種行事等実施されないものが多く、今後大型の支出は発生しないものと考ええる。

計上済の総会費用と印刷製本支出の2件に関し、詳細を別紙にて報告する。総会費用は、親蔦クラブ使用につき会場費、アトラクション費、各支部会長交通費も発生しない為、コロナ禍をおして参加頂いた各位に交通費を支給した。計12万円の支出となった。

印刷製本支出は蔦印刷代と送料、海外向け送料と振込手数料からなっている。海外向け発送はコロナによる海外郵便取り扱い停止のブラジル以外は発送できた。合計で¥2,855,638となり、予算内に収まっている。以前より取り組んできた一家複数冊→1~2冊/一家に変更する部数削減策の精度を上げ、昨年より333部の部数削減を行った。それにより昨年(¥2,897,286)以下で収支した。

蔦56号を見たY27の利野氏より声掛けを頂き、Y27回生対象の会費納入作戦を実施、現在17名の方に賛同を頂き、6.9万円の納入を得た。今後、還暦を迎えるY32回生と、卒業後30年を迎えるY44回生を対象に会費納入作戦を実行する所存である。

オープンデーはコロナ禍で休止が続いているが、10/17に久々に開催するので、多数の参加をお願いしたい。

2. 親蔦会創立90周年記念事業の件

記念事業は以下の3点となる。

1) 記念祝賀会

新型コロナの関係で、記念祝賀会は来年10月10日(祝)に再延期となった。

2) 記念事業としての母校援助

母校より、「夢野リサーチルーム設置に伴う支援金」の希望を頂き、総会にて目録贈呈し、8/18に支援金百万円を振込完了した。

3) ストークビル605号室購入と親蔦クラブ改装の経過報告

事務局より購入にいたる経過報告を実施。本報告は今後HPに転載する予定である。

3. 各委員会活動報告

各委員長より活動報告を行った。

・総務委員会

向田委員長より報告。総務委員会随時開催中。

・広報委員会

大江事務局長より報告。蔦57号の第一回編集会議を10/17(日)11:00より開催する。多数参加願う。

・年間行事企画委員会

渡辺委員長欠席につき、報告無し

・会費納入促進委員会

宮原委員長欠席につき報告無し

・ホームページ活性化委員会

堀江委員長より報告、但し今回は報告案件なし

・総会活性化委員会

戸田委員長より報告。来年の総会は6/5(日)場所は今年実現できなかった母校開催を希望。

4. 理事会体制の件

法人登記が完了したので、現体制表を添付する。来年度は理事の大半が任期満了となる。

今後、重任の希望の有無の調査を開始し、合わせて新しい人材の発掘を検討していく。

5. その他

・会長より、605号室購入及び隔壁撤去で広くなった親蔦クラブの今後の改装計画について意見交換したいとの申し出有。今後の改装案件として、607号室側に壁を新設し事務所部分を独立させる工事と、605号室のブラインドの交換工事、床貼替え、内装デザイン、調度品の調達等が考えられるが予算に限りがある事、ストークビル自体が2027年で築50年で、借地契約満了となる事、満了後は例えば建て替えとなる場合もある為、今回の改装には予算を掛けたくないとの会長の意見に対し、建て替えになると決まったわけではない、折角の機会に少しお金を掛けてでもより良い改装を即実施すべきと考える理事もおり、折り合いが付かない状態となっている。とりあえず、事務局よりの希望で、事務所部分の独立の為の壁新設のみ、随時契約で左成工務店に依頼する事が決定した。その後の工事は相見積を基本として今後検討を続ける事となる。

・夢高より、緊急援助の依頼が来ているので、それについて検討した。

来年度の新入生より、タブレットの個人購入が必要となるが、コロナ禍で収入激減した家庭も多く、購入費用を捻出できない生徒が見込まれる。親蔦会で助けてもらえないか?との事。

在校生を助けるのも同窓会の大きな仕事ではあるが、高額になる事が予想される事、結果的に個人

への援助の形となる事等で、運営費よりの援助は難しい。部活援助基金からの援助も、寄附頂いた方に了承を得ず使用先を変更する事は問題有りとの事で、新に寄付金を募る事しか無いとの結論に至った。とりあえず来春必要分はホームページでのPRや口コミで寄附を集めて対応し、今後の県や政府の動向を見極めた後、来年以降は、ICT環境充実化基金として寄附制度を新設し、「薦」にてPRする事に決定した。とりあえずの募金や募金活動のPRに是非とも協力頂きたい。

5. 閉会

最後に議長は、それ以上の動議の無い事を会場に確認の上、閉会を宣した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次の通り記名捺印する。

2021年10月6日

議長	山本 幸男	印
議事録署名人	山田 保枝	印
議事録署名人	白石美弥子	印